



より優しく より強い まつやまへ  
一人でも多くの人を笑顔に

健やかで優しさのあるまち

# 健康・福祉



地域全体で安心して子育て  
できるまちを目指して

## 子育て支援を充実

公設児童クラブを増やし、開所時間を延長するほか、休日子どもカレッジで遊びや学びの場の提供、民間児童クラブへの補助など、こどもが安心・安全に過ごせる居場所を充実させています。また、市内に8カ所ある児童館や児童センターで、年間を通してさまざまなイベントを実施しています。

令和5年7月からは、小学5・6年生を対象に新しく学習支援「松山こども塾(まつじゅく)」を市内3カ所で開催しました。

また、経済的な理由で出産を諦めることがないように、「育児用品・家電製品の購入費用」「出産後の奨学金の返還

費用」の支援を令和5年7月から開始しました。

さらに、令和5年12月から子ども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大、入院・通院ともに医療費を無料化し、子育て家庭の経済的な負担を減らすほか、病気の早期発見や治療を支援しています。

こうしたこどもたちの未来を応援する取り組みを積極的に実施し、子育て支援を充実させています。

## だれもが住み慣れた地域で

いきいきと暮らせるまちに

## 高齢者・障がい者福祉を充実

平成30年から65歳以上の高齢者の外出機会を創り出す「高齢者いき

ふらっと」を設け、相談体制を整えるなど、高齢者・障がい者福祉を充実しています。

## 安全・安心の医療体制で

市民の生命や健康を守る

## 救急医療体制を堅持

救急医療機関が医師や看護師などの医療従事者を確保するのを支援し、365日24時間の救急医療体制を堅持しています。また、毎日夜間に小児急病患者の応急診療を行う「松山市急患医療センター」を運営し、安心して子育てができる環境を充実しています。



こどもの相談室ふらっと



夜間の急病に対応する松山市急患医療センター

健やかで優しさのあるまち

## 健康・福祉

より優しく より強い まつやまへ  
一人でも多くの人を笑顔に

スポーツに取り組むことで手に入れた、健康と粘り強い気持ち



まつやま  
NEXT  
GENERATION

～笑顔を広げ未来へつなげるこども大使～

松山市立荏原小学校  
平野 智志さん

幼稚園から水泳教室に通い、3年前からはバドミントンにも取り組んでいます。健康に生活できるのはスポーツのおかげ。また、スポーツでも勉強でも、もうひと頑張りできるようになり、粘り強さが身に付いたと実感しています。このほか運営委員会で、あいさつ運動をしています。これは朝、みんなに大きな声であいさつをする活動。一日の始まりにあいさつを交わすことで、気持ちが通い合うので、「あいさつの輪」を広げたいと思います。

